

令和7年度 藤沢工科高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

| 課 題 | 目 標 | 実施結果と目標の達成状況 |
|-------------------------------------|----------------------------------|---|
| 法令遵守意識の向上(公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む) | 公務員、特に教職公務員としての行動を自覚する。 | 毎月の不祥事防止研修のほか、日頃から職員全体、また経験の浅い若手職員、臨時的任用職員等への声掛けや面談などを通じた働きかけを行うことで、法令遵守への意識や倫理意識を高く維持することができた。 |
| 職場のハラスメント行為の防止 | わいせつ・セクハラ・パワハラ行為を防止する。 | 働きやすい職場づくりに向け、他者の人権を尊重する意識の醸成を引き続き進めたが、課題となる案件も複数あったことから、環境の改善に向けた対応をきめ細かく行った。 |
| 児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止 | 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を防止する。 | 生徒が相談しやすい環境を構築するなど、教育相談体制の充実を図った。また日々の指導の中でセクハラやわいせつ行為の防止に対する啓発指導を継続して進めた。 |
| 体罰、不適切な対応・指導の防止 | 生徒の人権を尊重し、体罰、不適切な対応・指導の発生を防止する。 | 研修などを通して、体罰・不適切指導は、絶対に許されない行為である事について全体に周知徹底することで、高い意識の定着が進み、引き続き大きな問題となる不適切な指導の発生は無かった。 |
| 入学者選抜に係る事故防止 | 入学者選抜業務に係る事故不祥事の発生を未然に防止する。 | 各作業のポイントを確認し事故を未然に防ぐ仕組みづくりを進めることで、不確実な作業を排除し支障なく業務を終えることができた。 |
| 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 | 定期試験、成績処理、調査書等の文書作成での事故を未然に防止する。 | 成績処理にあたり、不適切な処理を排除するための留意点についてまとめた資料を、関係グループが全職員に配付して共通理解を図ったこともあり、適切に業務を進めることができた。 |
| 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策(パスワードの設定、誤廃棄防止) | 個人情報の流失や誤廃棄を未然に防止する。 | 電子データの管理を徹底するとともに、紙媒体の誤廃棄防止に向け、定期試験期間中のシュレッダーの使用停止、また未返却答案用紙の専用ロッカーでの一括管理を行うなどの取組を引き続き実施した。 |
| 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守 | 交通事故や酒酔い、酒気帯び運転を防止する。 | 交通安全資料を活用するなどして、常に職員に対して交通法規の遵守をはじめとした意識向上に向けた働きかけたことで、綱紀保持が徹底され飲酒運転など重大な違反行為の発生を本年度も抑制できた。 |
| 通勤手当ほか各種手当、旅費の不正受給の防止 | 不適切な申請、受給を防止する。 | 公共交通機関の定期券や自家用車による通勤に係る現況確認の実施、また各種手当申請時の点検を徹底し、問題となる案件の発生は無かった。 |
| 業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制) | 不適切な業務執行を防止する。 | 日常の業務における、報告、連絡、相談に努めるようにするなど、適切な管理及びチェック体制づくりに取り組んだ。良好な業務執行体制の確立に向け、引き続き取り組みを推進する。 |
| 会計事務等の適正執行 | 適正な私費徴収・執行を行う。 | 適切な会計業務を実践するため、常に複数確認の体制で処理を行い事故防止に努めたが、私費の徴収において課題が残る事案もあったことから、適正な会計処理業務の遂行に向け改善を進める。 |

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題(学校長意見)

不祥事防止に向けた目標の達成を目指し、職場全体への研修や各職員に対する個別の指導を進めながら業務にあたったが、いくつかの課題が残った。マニュアルや作業手順の改善を進めることで課題の解決に向けた対応を行ったが、更なる改善に向けた取組の検討が必要と考える。

職員の高い意識の醸成と、事故の発生を防ぐためのより強固な体制づくりを目指し、職員ひとり一人が改善に向け力を発揮できる、風通しの良い職場づくりをこのあと進めて行く。